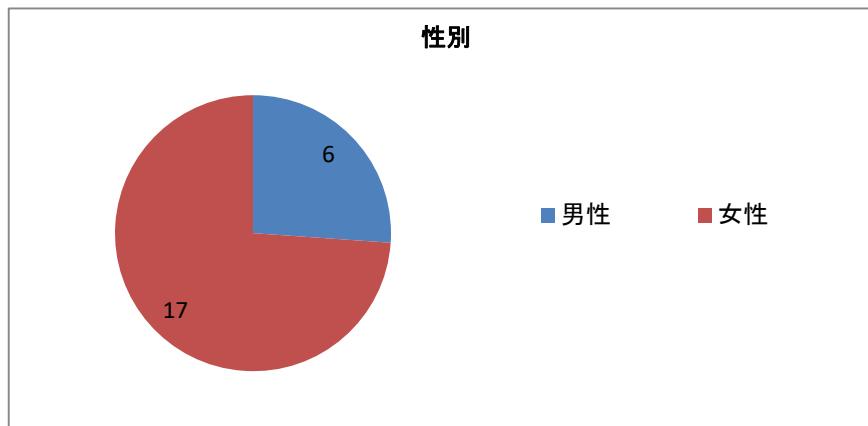


性別

選択肢	回答数	
男性	6	26.09%
女性	17	73.91%
合計	23	100.00%

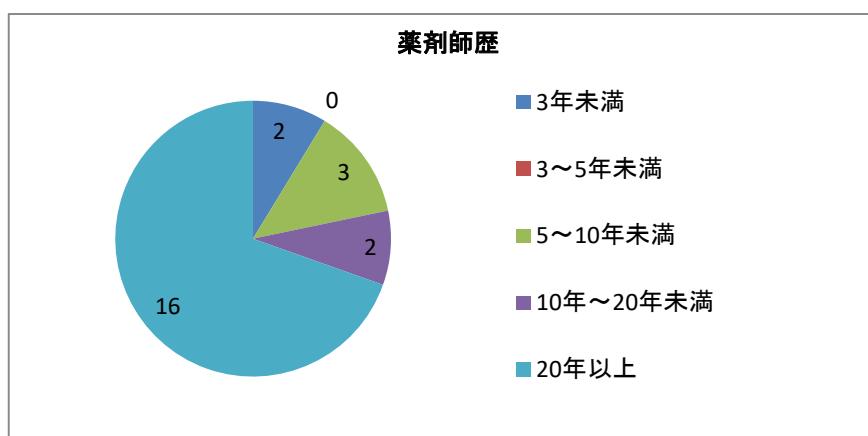
単一回答



薬剤師歴

選択肢	回答数	
3年未満	2	8.70%
3~5年未満	0	0.00%
5~10年未満	3	13.04%
10年~20年未満	2	8.70%
20年以上	16	69.57%
合計	23	100.00%

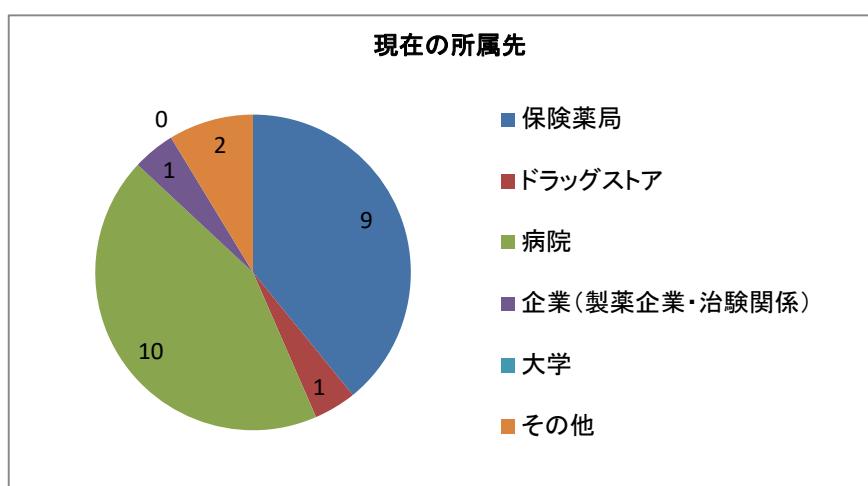
単一回答



現在の所属先

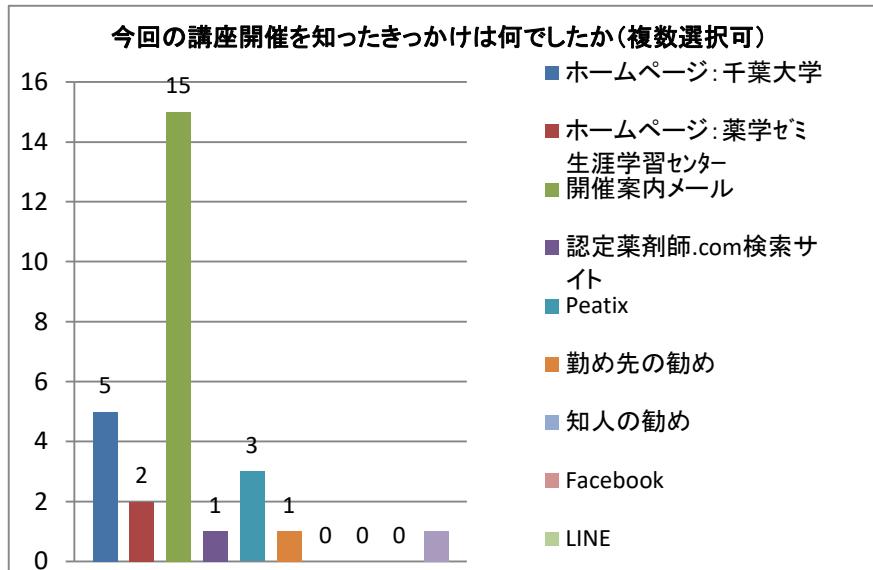
選択肢	回答数	
保険薬局	9	39.13%
ドラッグストア	1	4.35%
病院	10	43.48%
企業（製薬企業・治験関係）	1	4.35%
大学	0	0.00%
その他	2	8.70%
合計	23	100.00%

単一回答



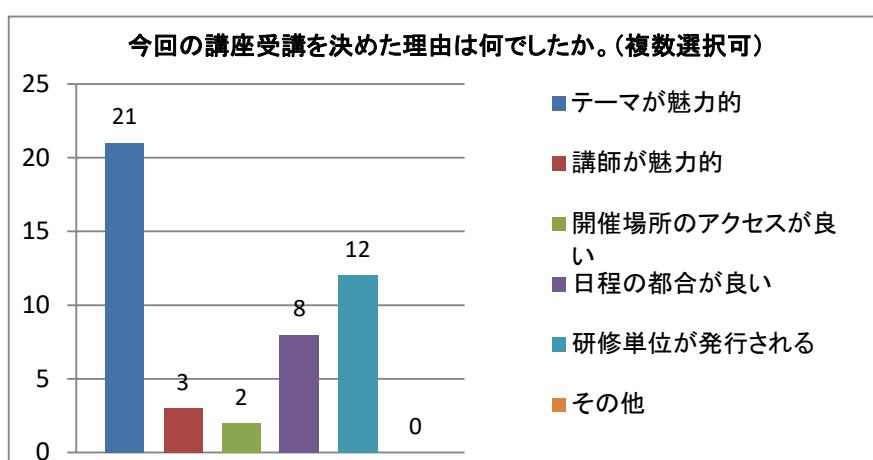
今回の講座開催を知ったきっかけは何でしたか(複数選択可)

選択肢	回答数
ホームページ:千葉大学	5 17.86%
ホームページ:薬学セミ生涯学習センター	2 7.14%
開催案内メール	15 53.57%
認定薬剤師.com検索サイト	1 3.57%
Peatix	3 10.71%
勤め先の勧め	1 3.57%
知人の勧め	0 0.00%
Facebook	0 0.00%
LINE	0 0.00%
その他	1 3.57%
回答者数	28
複数回答	



今回の講座受講を決めた理由は何でしたか。(複数選択可)

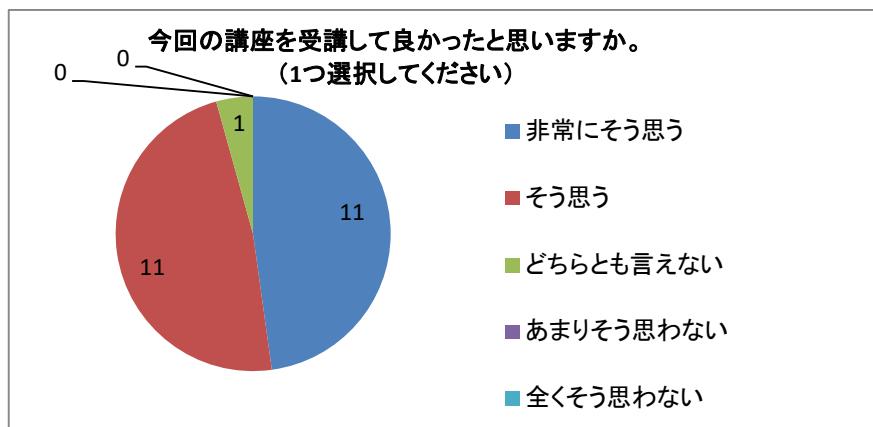
選択肢	回答数
テーマが魅力的	21 45.65%
講師が魅力的	3 6.52%
開催場所のアクセスが良い	2 4.35%
日程の都合が良い	8 17.39%
研修単位が発行される	12 26.09%
その他	0 0.00%
回答者数	46
複数回答	



今回の講座を受講して良かったと思いますか。(1つ選択してください)

選択肢	回答数
非常にそう思う	11 47.83%
そう思う	11 47.83%
どちらとも言えない	1 4.35%
あまりそう思わない	0 0.00%
全くそう思わない	0 0.00%
合計	23 100.00%

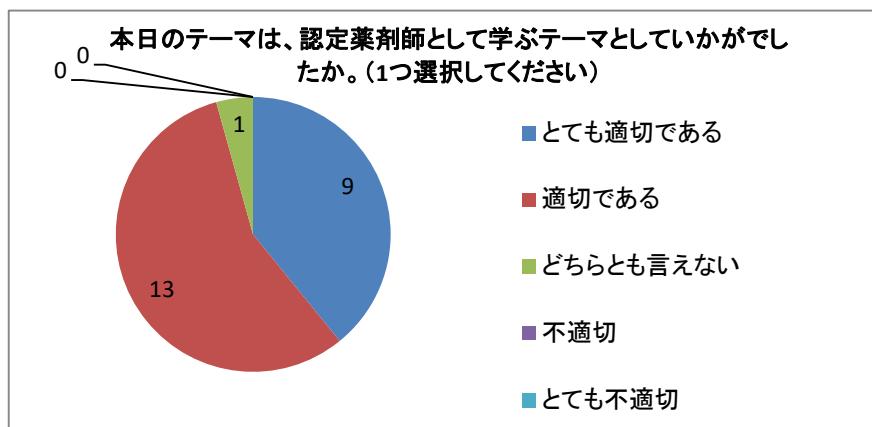
単一回答



今回のテーマは、認定薬剤師として学ぶテーマとしていかがでしたか。(1つ選択してください)

選択肢	回答数	
とても適切である	9	39.13%
適切である	13	56.52%
どちらとも言えない	1	4.35%
不適切	0	0.00%
とても不適切	0	0.00%
合計	23	100.00%

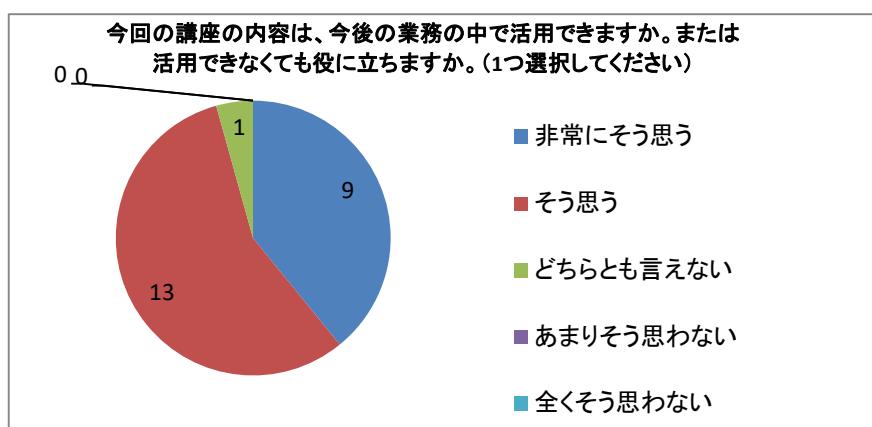
単一回答



今回の講座の内容は、今後の業務の中で活用できますか。または活用できなくても役に立ちますか。(1つ選択してください)

選択肢	回答数	
非常にそう思う	9	39.13%
そう思う	13	56.52%
どちらとも言えない	1	4.35%
あまりそう思わない	0	0.00%
全くそう思わない	0	0.00%
合計	23	100.00%

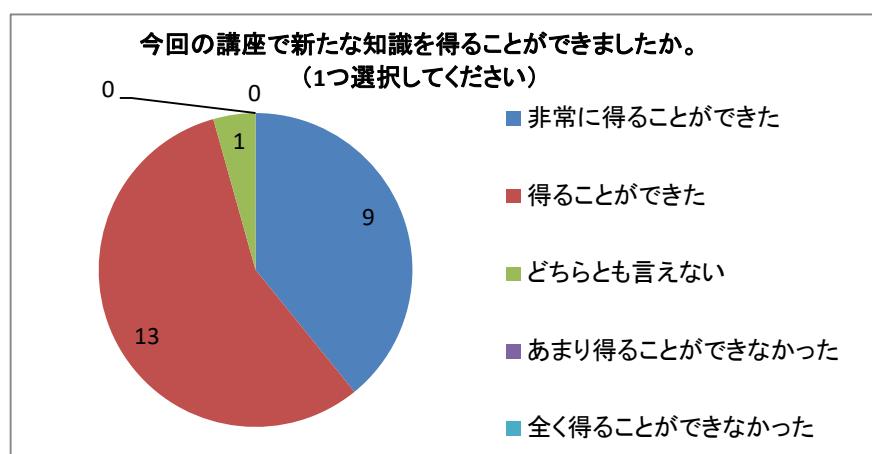
単一回答



今回の講座で新たな知識を得ることができましたか。(1つ選択してください)

選択肢	回答数	
非常に得ることができた	9	39.13%
得ることができた	13	56.52%
どちらとも言えない	1	4.35%
あまり得ることができなかつた	0	0.00%
全く得ることができなかつた	0	0.00%
合計	23	100.00%

単一回答



【今回の講座開催を知ったきっかけは何でしたか。(複数選択可)
【その他記述】

NO.	今回の講座開催を知ったきっかけは何でしたか。(その他記述)
1	千葉大学からのメール配信

【今回の講座受講を決めた理由は何でしたか。（複数選択可）
【その他記述】

NO.	今回の講座受講を決めた理由は何でしたか。（その他記述）
1	千葉大の研究や発表に興味がある

【活用できる場面を具体的にご記入ください。】

NO.	活用できる場面を具体的にご記入ください。
1	企業内研修(対象:MR,学術など)
2	褥瘡治療剤、経腸栄養剤は在宅での薬剤提案する際に活用できる
3	褥瘡回診での薬剤滞留性を意識したアプローチ
4	患者さんからの相談、要介護者の家族からの相談
5	病棟で褥瘡患者への薬剤の選択の提案、入院時のリスク判定。
6	日常業務での服薬指導にて
7	栄養・褥瘡対策委員会(参画中)
8	褥瘡治療の経過などの確認ができ、それに合わせた説明もできるため
9	病棟業務
10	在宅でまたは入院でまたは家の介護で
11	患者さまの中には、ベッドの上からあまり動かないという方もいらっしゃるので、服薬指導をする上で、褥瘡の知識を知っておくことは必要だと思いました。また、サプリメントのことを聞かれることがあるので、ビタミンやミネラルの摂取基準の指標の講義を聞けて良かったと思いました。
12	軟膏がよいか、クリームがよいか、聞かれることがあるので。
13	褥瘡に使用する薬剤の選択方法
14	皮膚科の門前の薬局であり、褥瘡治療の処方を受けた時に役立ちます。
15	患者様との会話

16	病棟業務
17	ドラッグストア勤務なので、病院に行くほどではないが、赤くなってしまっているなどと相談されることがある
18	介護者からの相談、医師をはじめとした他職種との連携
19	病棟において褥瘡のある患者や栄養状態に課題のある患者と関わるとき
20	病院の病棟
21	入院患者様の治療内容の確認
22	仕事をしておりますが、自身も含めて高齢者の栄養管理や褥瘡に対する知識は、これから的生活に必要だと感じました。
23	生化学的検査の評価

【最も印象に残ったことをご記入ください。】

NO.	最も印象に残ったことをご記入ください。
1	栄養士やその育成者のセミナーは沢山受講しているが、薬学的ではない面が多い 一言で言えば定性して活性成分があって、こんな理想的な食品だというレクチャーが多く、どの程度含まれるか(定量)ほとんど説明無いか重要な情報ではないという講師が多い中、今回はこんなに努力している方々がいることを知りました 転帰最適化・改善が望める栄養を意識する大切さを学びました
2	鉄サプリメントの摂取と総死亡率の関連
3	基材を意識すること
4	褥瘡のレベルの客観的な表現方法、褥瘡のタイプによって選択する薬剤が異なること。微量元素のサプリメントの過剰摂取によって考えられるリスク。
5	同じ分類の薬でも、基材によって正反対の効果になってしまうこと。
6	褥瘡に対する知識を得ることができた
7	栄養摂取状況と褥瘡治療の予後とが非常に密接に関連していることに、あらためて理解を深められたこと。
8	栄養管理の方法や考え方
9	基材の違い
10	経腸栄養で
11	栄養管理の講義を受けて、栄養ケアマネジメントの理念やGLIM基準など初めて聞く話も多くて、とても勉強になりました。病棟での栄養管理をどのようにされているのかなど、普段聞くことの出来ない話を聞けて良かったです。
12	ゲーベンクリームをガーゼにたっぷり付けて、患部に貼ると、ガーゼを剥がす時、黒色壞死組織も取ってくれる。外科的にしなくても、1日2回やることで剥がすことができる、ということ。
13	褥瘡に使用する薬剤の選択方法
14	医療現場における低栄養状態の診断方法と栄養製剤切り替え時の注意点を栄養士の観点から知ることができたことです。

15	褥瘡治療薬。栄養診断事例のBUN、電解質モニタリングの大切さ。
16	栄養士の方々も、病棟活動にて診療報酬を得る事ができるようになった事
17	栄養について
18	栄養学
19	褥瘡は治らないものではなく、原因の除去や適切な処置によって改善できるということを、症例を交えてお話しいただいたことが非常に印象に残りました。
20	ステージによる軟膏の使い方。軟膏のそれぞれの特徴。 褥瘡を誘発させる可能性のある薬について。
21	鎮静効果のある薬剤では褥瘡を引き起こすことがある点
22	ビタミン・ミネラルの適正使用が思った以上になされていないこと
23	褥瘡発生に当たっては患者に投与されている薬剤の影響が無視できないということ

【今回の講座の感想をお聞かせください。】

NO.	今回の講座の感想をお聞かせください。
1	褥瘡そのものの学習はしてきたつもりですが、併発疾患への薬物治療で褥瘡を誘発することや定性ではなく定量する考え方を持った微量栄養素へのアプローチや必要量などの値の背景を含め、日本語への思い込みへの軌道修正の必要性を学びました
2	食事摂取基準について勉強したことがなかったので詳細、裏話的な内容まで聞けたことはよかったです 今後の改訂の際にはとても興味を持って確認できそう
3	薬剤師の先生は褥瘡に精通した先生だったでしょうか
4	自分の日常の業務でよく出てくる薬剤や事象ではありませんでしたが、だからこそ薬剤師として目を向ける必要のある切り口を示していただいたことは良かったです。
5	今まで詳しく学ぶ機会のなかった栄養面について詳しく知ることができ、勉強になりました。
6	新しい知識を得ることができ、とても身になった
7	高齢社会の進展とともに、飽食の時代であるにもかかわらず、その恩恵を受けられない栄養摂取不良の患者へのアプローチをどうしていくのか、あらためて考えさせられる講座でした。
8	栄養管理や褥瘡管理に関して、どういう視点で見たらいいか、考えたらいいかを学べた
9	薬剤師の職能
10	ありがとうございました。母の介護で経験したことの中での疑問がとけました。
11	褥瘡の講義を受けたくて申し込んだのですが、関連して栄養管理やビタミンとミネラルの数値の話まで総合的に学ぶことが出来ました。日常の服薬指導などにも役立てたいと思います。
12	病院の中で褥瘡管理も薬剤師が担っていることなど、重要な職についていることが聞けて良かったです。
13	とても勉強になりました。
14	褥瘡に関しては良い復習となりました。ただ、もっと詳しく知りたかったですが、時間が足りないのかなと感じました。
15	褥瘡については浅い知識しかなかったので勉強になりました。

16	GLIM基準について、もう少し学ぶ必要があると感じた
17	以前、褥瘡の処置について軟膏を混ぜてポケットに塗るというような実地研修を受けたことがあるのですが、薬の使い方を再確認できたことがとても良かったです。 また栄養について学んだので、相談された時にアドバイスできるようにしたいと思いました。
18	続編を希望します
19	病院実習のときに鶴岡先生をICUでお見かけしていて、すごい方なのだろうな、お話を聞いてみたいな、と密かに思っていたので、このような機会があり嬉しかったです。
20	よく処方される薬が含まれていて これからの仕事に生かすことができ とても勉強になりました。
21	ずっと製薬会社で研究や学術業務に就き、定年後病院勤務となつたため、以前の知識をアップデートでき、 日常業務に生かせると思いました。
22	以前より、褥瘡や栄養に薬剤師はもっと関わるべきであると感じていました。現場の薬剤師の方々にもそのような思いが伝わったのではないかと思います。
23	急性期病院ならではの話が聞けて、興味深かった。

【ご意見やご要望がございましたらご記入ください。】

NO.	ご意見やご要望がございましたらご記入ください。
1	休憩時間を圧縮して、全体として「3時間15分程度」で終わらせてほしい PECS単位取得に不安を感じましたが、本アンケート回答で面倒な手続きは省略できるのでしょうか？ たいていはアンケート回答で手続きなどは不要ですよね
4	これからもオンラインの開催を希望します。
7	充実の内容だったにもかかわらず、参加者が50人程度だったのが本当に残念です。時間帯が良くなかったのでしょうか…
12	糖尿病をテーマに扱ってほしいです。